

◆セミナー開催のお知らせ◆

「IP 電話回線での FAX 通信」

講師：水谷幹男 氏

Egretcom 株式会社 代表取締役社長

2019年4月10日
画像情報ファクシミリ委員会

◆日 時：2019年5月13日（月）15：00～17：00

◆場 所：一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 会議室

港区浜松町2-2-12 JEI 浜松町ビル3階 / TEL：03-5403-9354

◆主 催：画像情報ファクシミリ委員会

◆協 賛：情報通信月間協議会

◆対 象：一般公開 / 参加費：無料

■講師紹介（敬称略）

水谷幹男

Egretcom 株式会社 代表取締役社長

1983年のCCITT-SG8以来、ITU-SG14等、Tシリーズ、Vシリーズ勧告の作成に従事し、特にV17、V34モデムの規格化に貢献。松下電送では、FAX用モデム開発を推進した。2009年パナソニック・コミュニケーションズを退社後、Egretcom株式会社を設立し、FAX検査装置、FAX&データソフトモデムを製品化している。

■講演概要

1. IP 電話回線での FAX 通信について

電話回線は、2000年を境として、日本国内ではISDN64kコーデックの音声通信から、VoIP回線に移行し始め、それ以前のサンプルスリップが無い回線から、パケットロス/遠端エコーが顕著である回線に変化した。その現象に対し、FAX通信は新たな課題を解決する必要性が生じた。

まずパケットロスの発生メカニズムと、そのFAX通信に対する影響を解説する。特に、V17モデム(G3)とV34モデム(スーパーG3)の違いによる、VoIPでの影響度を説明する。

2. FAX通信不良解析方法とFAX通信不良解決最終手段

パケットロスがどのタイミングで発生しているかを、効率的に発見する方法を解説し、その対処方法を説明する。基本的には、失われた情報(パケットロス)を復元する手段は無く、現状ではECMIによる再送でしか通信不良を解決できる手段は無い。そこで、VoIP回線にFAXが完全に対応するためには、モデムの構造を根本的に変える必要があり、その仕組みを公開し、今後のFAX通信の安全性を確保できる提案を行いたい。

※ 本セミナーに参加ご希望の方は <https://www.ciaj.or.jp/news/events/seminar.html> よりお申込下さい。
但し、定員になり次第締切といたします。

※ ご提供頂きました情報は、当協会が今後主催する同様の交流会、委員会又はセミナー等のご案内、書籍・報告書等の発刊のご案内等に利用させていただく場合がございますので予めご了承下さい。尚、以上について不都合がございます場合は、事前にご連絡賜りますようお願い申し上げます。

以 上